



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう)

第23号

学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

## 今年度の全国学力・学習状況調査の結果について(その2)

学校だより第22号に引き続き、令和3年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析した内容をお知らせします。今号では、「生徒質問紙」の調査結果から見えてきた生活習慣や学習環境等に関する成果と課題を分析し、その対応や改善策についてお伝えします。前号の、国語と数学に関する内容以上に、この質問紙調査の結果をご家庭や地域の方々と共有することは、成果のさらなる伸長と課題の改善に向けて三者（学校・家庭・地域）が連携する上でも大切であると考えています。ぜひご一読いただき、お子様との話題や振り返りにご活用ください。



### 1. 質問紙調査の主な特徴（南西中学校の生徒の生活習慣や家庭学習の状況から）

#### (1) 全国や県の傾向より良い状況、あるいは同等であった事象

【当てはまる、どちらかという当てはまる（している、どちらかというとしている）の割合】

- ◎朝食を毎日食べている。
- ◎毎日同じくらいの時刻に起きている。
- ◎携帯電話、スマホやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- ◎将来の夢や目標を持っている。
- ◎難しいことでも失敗を恐れず挑戦している。
- ◎人が困っているときは、進んで助けている。
- ◎学校に行くのは楽しいと思う。
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ◎自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。
- ◎自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ◎友だちと協力するのは楽しいと思う。
- ◎友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。

#### (2) 全国や県の傾向より良くない状況であった事象

【当てはまらない、どちらかという当てはまらない（あまりしていない、全くしていない）の割合】

- △平日の、1日当たりのテレビゲーム（PC、携帯やスマホのゲームを含む）をする時間  
→ 長い傾向にある（2～4時間程度）。一方、全くしない生徒の割合も10%程度で全国や県平均を上回っている。

△自分には良いところがあると思うか。

△家で自分で計画を立てて勉強をしているか。(授業の予習・復習を含む)

△平日の、1日当たりの勉強時間(塾、家庭教師、インターネットによる学習を含む)

→ 1～3時間が約60%、3時間以上も約17%と県・全国平均を上回る。一方で、30分以下～全くしないが約15%と、こちらの割合も県・全国を上回っている。

△土・日など学校が休みの日の、1日当たりの勉強時間

→ 2～4時間が約50%、4時間以上も13%程度。一方、全くしないが10%と全国・県平均を上回る。

△新聞を読んでいるか。

△今住んでいる地域の行事に参加しているか。

△総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか。

△学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか。

質問紙調査の結果から、本校の生徒は、落ち着いた生活環境の中で自分自身や仲間を大切にしながら前向きに学校生活を送っていることがうかがえます。中でも、「いじめはどんな理由があってもいけない」、「自分と違う意見について考えたり、友だちと協力したりするのは楽しい」、「友だちの意見や話を最後まで聞く」といった事項に肯定的な回答をしている生徒が多い点は、良好で温かな人間関係が築かれていることを想像させるとともに、「学校に行くのが楽しい」という想いに繋がっているものと思われます。

一方、自分自身で生活のリズムを確立し、やるべきことにきちんと向き合うことはやや苦手であるという傾向が見られます。「自分で計画を立てて勉強する」、「1日当たりのテレビゲームの時間を制限する」、「1日当たりの十分な学習時間を確保する」といった事項からその課題が浮き彫りになっており、しかも二極化傾向にあることも本校生徒の芳しくない特徴になっています。

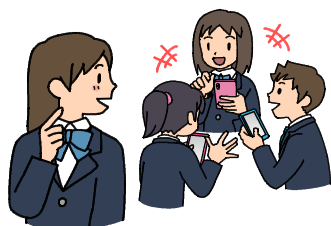
また、新聞の購読や地域行事への参加を通して社会の出来事や地域のことに目を向け、関心をもつ生徒を育てる必要性も明らかになりました。

## 2. 質問紙調査からの改善点

### ①家庭学習の習慣化と充実について

生徒の努力や頑張りを認め励ます声かけや評価を積み上げ、現在行っている「自主学習ノート」の取組をさらに推し進めていきます。また、クロームブックの活用も含め、授業と授業を繋ぐ家庭学習課題を努めて提示し、それを生かした授業づくりを推進することを通して、家庭学習の必要性・重要性に気づかせていきたいと思えます。

### ②メディア・コントロールについて



ご家庭の協力を仰ぎながら「ノー・メディア day」の取組を引き続き行うとともに、その成果を生かし、メディアとの正しい付き合い方について考える機会を設けます。また、小中で連携して「ノー・メディア day」の取組を進めることで小学校段階からメディアとの付き合い方を意識した生活習慣の確立に努めます。

